

リポジトリ登録作業の半自動化

馬場, 謙介
九州大学附属図書館研究開発室

<https://hdl.handle.net/2324/19333>

出版情報：附属図書館研究開発室成果報告会, 2011-03-16
バージョン：
権利関係：



リポジトリ登録作業の半自動化

九州大学 馬場謙介

2011年3月16日

第1回九州大学附属図書館研究開発室成果発表会

目的

リポジトリへの登録の促進

- 登録者への負担の少ないセルフアーカイビングの実現
- リポジトリ担当者のワークフローの標準化
- 一連のデポジットの流れの自動化

これができるば,

- 全国の機関リポジトリの登録数増加！
- 担当者として十分な人員を確保することができない研究機関への機関リポジトリ導入が可能！

目標

文献自動収集・登録ワークフローシステム

－ 教員問い合わせシステム・リポジトリ登録システム

- ・ 研究成果のメタデータ登録

－ 著作権処理状態管理システム

- ・ 出版社等の著作権ポリシー問い合わせ
- ・ エンバーゴ管理

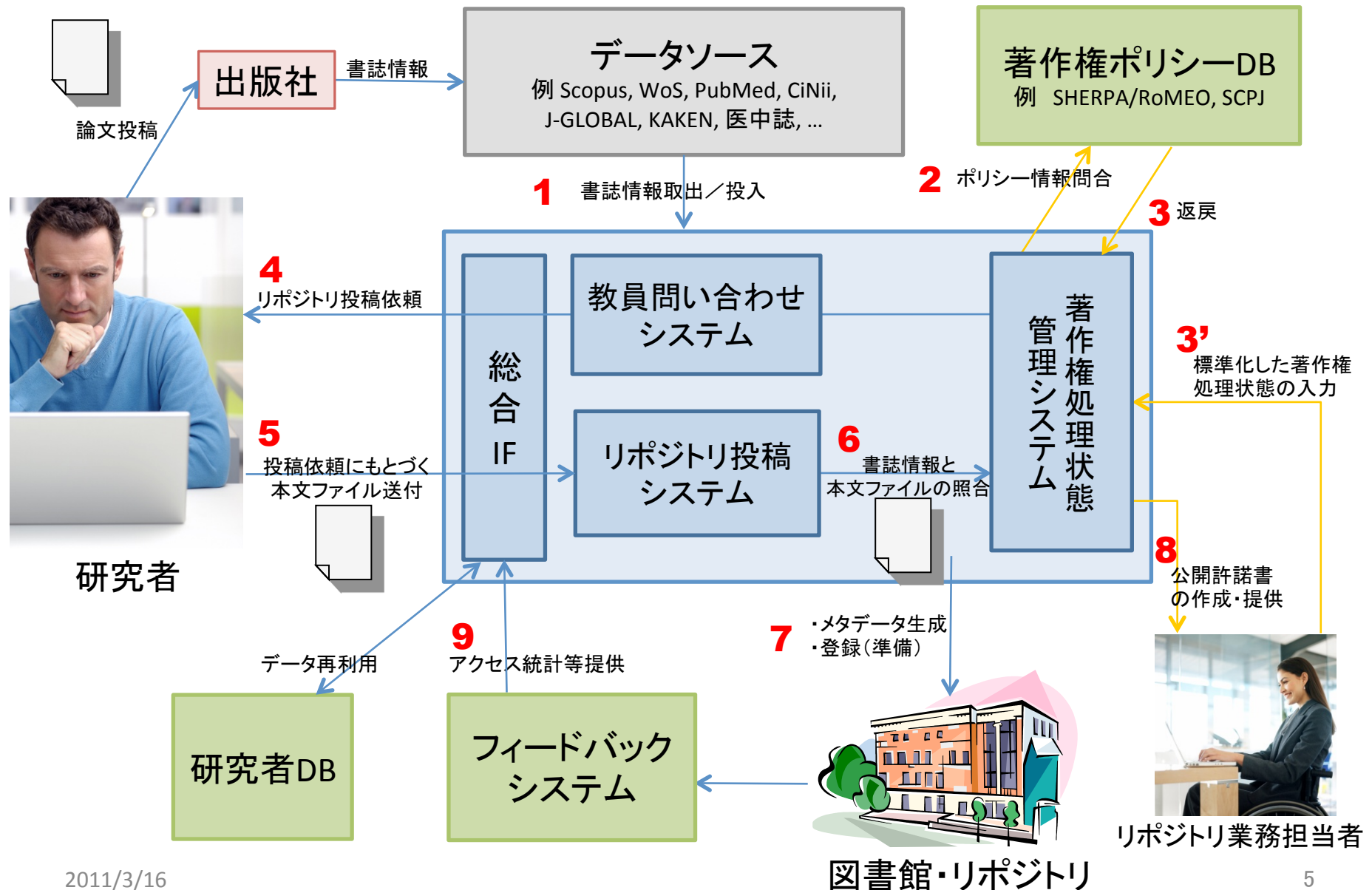
－ その他

- ・ アクセス解析等のフィードバック(廣川先生のご発表)
- ・ 教員DB等との連携(伊東先生のご発表)

国情研CSI委託事業として遂行中

- － 教員問い合わせシステム・リポジトリ登録システム
 - ・ 九大(平成22年度)
- － 著作権処理状態管理システム
 - ・ 一橋大, 筑波大, 三重大(平成22, 23年度)
 - ・ 九大(平成23年度)
- － その他
 - ・ 九大(平成24年度)
- － システム全体の検証・評価
 - ・ 全体(平成24年度)

文献自動収集・登録システムの概要



半自動化のポイント

2つの作業で外部データベースを利用

－ 論文登録依頼

- 研究者からの登録を待つのではなく、リポジトリ側から登録依頼
- Scopus等の論文データベースを利用

－ 掲載ポリシー, エンバーゴ管理

- リポジトリ管理者の作業のうち、もっとも面倒な作業
- 従来作業の調査により、登録する論文ごとの状態を定義. この状態を管理
- SCPJ等の掲載ポリシーデータベースを利用

研究者の視点でもう少し具体的に

受信 作成 アドレス帳 返信 全員に返信 転送 タグ 削除 迷惑メール 印刷 戻る

件名: 論文登録依頼
差出人: Kensuke Baba
送信日時: 10:09
宛先: Kensuke Baba

情報基盤研究開発センター
伊東栄典先生

九州大学附属図書館からのお願いです。

以下の論文をQIR（九州大学学術情報リポジトリ）へご登録ください。

タイトル: Issues of university shibboleth IdP in national federation
著者: Ito, Eisuke
出版年: 2010-06
言語: jpn

登録内容をご確認の上、論文のファイルを下のサイトよりアップロードしていただければ登録完了です。

<https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/17781>

論文の著作権処理については、九州大学附属図書館がどうたら

これなら登録しようか...



Issues of university shibboleth IdP in national federation

[Kyushu University Institutional Repository \(QIR\)](#)

論文のメタデータを登録する

タイトル: Issues of university shibboleth IdP in national federation
著者: Ito, Eisuke
著者名ヨミ: イトウ, エイスケ
著者名(別表記): 伊東, 栄典
著者情報: Research Institute for IT, Kyushu University / 九州大学情報基盤研究開発センター
出版年: 2010-06-30
言語: jpn
コレクション: 学術情報メディア研究部門 = Academic information section

メタデータを修正

論文をアップロードする

C:/Documents and Settings/ 選択

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係
〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1

進捗状況

- 教員問い合わせシステム・リポジトリ登録システム

開発(納品)済み. お楽しみに！

- 著作権処理状態管理システム

予備調査終了. 次年度よりシステム開発へ

- その他

アクセスログ解析, 教員DBとの連携を遂行中